

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組み。	職員ミーティングのみならず、積極的に研修への参加。外部から講師を招き、勉強をする。	現に7月からはステップアップへの研修参加及び精神科の看護師、保健福祉士を招き、施設内での勉強会を行なっている。	あえて達成期間はおかず、随時目標と位置付ける
2	57	利用者との関わり。一緒に過ごせる場面、時間が少ない。	週に2～3回、2時間程度の時間を作り、職員と一緒に楽しく笑顔あふれる時間をつくる。	利用者と一緒に過ごすということに慣れて頂き、午後より全員でお茶を飲みながら(サロンの)お話をしたりする。	3ヶ月
3	15 ～20	初期に築く(本人との信頼関係、家族との信頼関係、見極めと支援、支え合う関係)	全職員が事前調査した内容を把握した上で、統一ケアができるようにする。	本来は月に1度のミーティングを行っているが、必要に応じて常に職員全員に招集を掛け、改善に向けての話し合いをする。	あえて達成期間はおかず、随時目標と位置付ける
4	27	個別の記録と実践への反映	細部に渡り、24時間の体調、言動、行動、食事及び水分摂取、排尿、排便等々の記入。	体調変化が分かりやすく、家族への同意や病院への受診、投薬、体調の変化がすぐに分かりやすくなる。	あえて達成期間はおかず、随時目標と位置付ける
5	30 ～32	かかりつけ医の受診支援。 看護職との協働。 入退院時の医療機関との協働。	速やかに適切な判断をし、かかりつけ医及び看護師と連携を取り、必要な医療措置を取る。	現行の内科医以外、認知症及び精神科医の往診又連携が図れないか検討中。可能になれば、より一層充実した医療及びケアができるのでは。	2ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	41	栄養摂取や水分確保の支援。	体調不良を素早く見つけ出し、迅速な対応。	言動、行動、バイタル、排泄のチェックを行い、常に気配り、その時に応じて食事、水分の変更する。	常時
7	48、49	役割、楽しみ毎の支援。 日常的な外出支援。	57番も含む。 外出に制限があるものの、施設内での楽しみを見出し、リフレッシュする。	現行の買い出しの他、利用者は食に関して楽しみにされていることが多い為、常に食べたい物、飲みたい物をお聞きし、一緒に作ったりする。又、誕生会、季節毎の行事年間を通じて様々な提供をしていく。	12ヶ月
8					ヶ月
9					ヶ月
10					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。